三谷さん、三谷哲央さん。あなたの訃報に接し、覚悟していたこととは言え、深い悲しみとともに、言葉にならない寂しさを覚えています。

あなたとの最初の出会いは、40年近く前になります。当初は、私の恩人である山本幸雄

先生の秘書として、その後は私の秘書として、経験の乏しかった私の政治活動を力強く支えくれました。

あなたは、私にとって最も信頼できる同士であり続けました。私が自民党を離党する決断をした時も、そして民主党分裂により無所属で総選挙を戦うことになった時も、一貫して

私の政治活動を支えてくれました。今日の私があるのは、あなたの存在があってのことです。

強く記憶に残るのは、平成7年の三重県知事選で、北川まさやす知事誕生のために、ともに力を尽くしたことです。厳しい選挙に勝利したことは、三重県政の大きな転換点となりま

した。そして、あなた自身もこのとき、多くの仲間とともに県議会議員として初当選され、ここから新しい三重県政がスタートしました。

あなたは、旧民主党の時代から国政選挙において、野党勢力の結集と協力に力を尽くされました。その結果、多くの国会議員が誕生し、三重県においては与野党伯仲が実現して

います。今年の夏の参議院選挙において、小島とも子さん擁立の中心となり、その当選に

向けて最後の力をふり絞って尽力されました。

そして、何よりもあなたは30年間にわたり、県議会の改革と県政推進の中心であり続けました。新政みえと自民党の勢力が伯仲し、県民の立場に立って、切磋琢磨するという今日の三重県議会の実現は、あなたの存在なくして考えられなかったと確信しています。

三谷さん、あなたの三重県に対する思い、そして三重県民のための政治を実現するとの

志は、その政治的立場を超えて、多くの次の世代の仲間によって受け継がれていくと確信

しています。三谷哲央さん、長い間、本当にありがとうございました。どうか安らかにお眠り

ください。

衆議院議員　岡田かつや